

2月号

第433号

いっしん

令和3年(2021年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPIはカラーです》

われよしと
思う心は
道のあだ
我身のあだ
戒めて行け
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師御教

教祖様138年 教団独立121年 小倉教会布教136年 甘木親教会布教117年
安武松太郎大人70年 加治木教会布教70年



1月24日 梅開花(加治木町)

節分

「節分」は、古(いにしえ)の時代から季節の変わり目の邪気を祓(はら)う行事でした。また特に「厄年」についてもいろんな風習からの説があります。つい先日「厄年」について、ゴールデンタイムのテレビ番組で「厄年とは役に立つ年齢を意味します」と伝えていました。

「金光的な解釈か？」と驚きました。教祖様は「此方の道では、やくとは世間でいう厄ではなく、役人の役という字を書く。やく年とは役に立つ年ということである。大やくの年とは、一段と大きな役に立つ、大役を勤める年と心得て、喜び勇んで元気な心で信心をせよ。草木でも節から芽が出て、枝葉を茂らせているであらう。しかし、節は固くて折れやすい。人間も同じこと。信心辛抱していけば、節年を境に年まさり代まさりの繁盛のおかげを受けることができる」(海老原の伝え)と伝えてあり念のため掲載致します。

鹿児島県は、明治政府の要人を多く輩出したこともあり、政策であった神道国教化政策を県民へも積極的に推し進め、麗しい古来の習慣を根付かせようとしたようで、いまだに「節分」や色々な習俗が色濃く残り、尊い伝統文化に触れることができます。

御本部

会堂改修工事

にあたり（教会長）

御本部の会堂（教主金光様が御取次下さるお広前）が竣工したのは、昭和四十八年で、今年で四十八年となります。



当時、私は中学生でしたが、お広前に完成予想図のような額と「本部広前会堂御造営」というような懸垂幕がかかっていたことを覚えていました。

また、母から「あなたたちの名前でも会堂御造営にお供えさせていただから」と、さも「ほんの一部でも御用させていただき、全教信奉者のそのような手厚い真心が集まってできるのだから、わずかながらでもこのお供えに真心を込めさせていただきなさい」というようなことを聞いたことをおぼろげながらに覚えていました。

そのようにして竣工した会堂は、二十六年前に老朽化による空調設備更新工事が行われましたが、さらに、二年前に故障しました。また、照明器具のLEDへの取り換え工事も迫られています。

そのため御本部では昨年より「改造改修工事費」としてお供えを受け入れておられました。

工事費は総額一億三千万円が見込まれていますが、昨年末での合計は七千万円足らずということになります。

そのため本年も引き続いて「会堂改修工事費」として特別奉献金を各教会に募られることが報らされます。

☆

「氏子が真から用いる」とは
教祖様は「氏子が真から用いるのは神もひれいじゃが、寄進勸化をして氏子を痛めては、神は喜ばぬぞ。」と教えてあります。

「氏子が真から用いる」とは、どのようなことでしょうか。

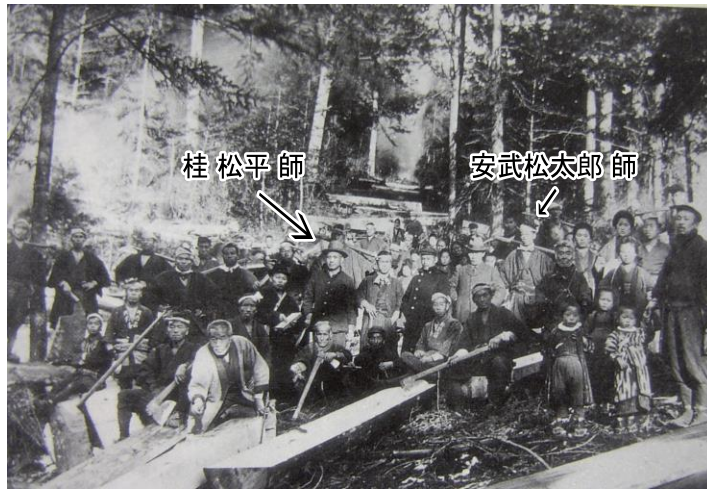
大正末期の大教会所ご建築の折、安武松太郎師は、木曾山中での御用材伐採搬出の費用が不足した時に、甘木教会に打電され、三人の信者さんに相談するようにとのことであったそうです。

その一人が、加治木教会の前教会長矢野政美大人のご母堂でありました。

しかし、当時の矢野家は家の周りに何反かの田畑しかなく、とても裕福な家とは言えませんでした。

甘木教会の信奉者は、当時すでに何百軒も何千軒もあり、中には相当

な財産家が何軒もあったのですが、どうしてそのような、そう財産もない矢野クラ刀自に「ソウダンセヨ」であつたのでしょうか。



明治40年 木曽山中での御用材伐採搬出

それは、推測してみるところですが、明治三十七年入信の折に矢野家の主である夫の命を助けられ、大正四年には矢野クラ刀自も、亡き命を助けられました。

クラ刀自の大患の折には、安武松

太郎師の条理を尽くされた、天地の親神様の大恩ということについてのご理解により亡き命を助けられたのです。

それ以来矢野クラ刀自は「振り返ってみると、今日までの信心は、ただ一身一家の上におかげ蒙らせていただきたいとの一心からのものであった。いわば自己中心で、親神様の御立場というようなことはいささかも考えていなかった。」と語り、それからというもの「自己中心の信心」から「親神様の御立場に立った信心」にすっかり変わられてしまわれたのです。

そのため、大患から助けられて以来、安武松太郎師より、親神様の「願い」や「お働き」や「思し召し」などについて、まさに亡き命を拾わせていただいた命を傾けて尋ね求めて行かれたようです。

そうして、親神様の願い、教祖様の願い、小倉教会の桂松平師の願い、安武松太郎師の願いの、核心とでも言うべきところを信心の稽古を進めて、シッカリと把握し心に頂いてあったからこそ、桂松平師や、安武松

太郎師が、神様に大心願を立てられて邁進されておられた大教会所ご建築の御用の、核心の願いを理解してあつたのでありましょう。

☆

「親神様の御立場に立った信心」 だったからこそ

そうであるからこそ「数多い信者の中には、相当の裕福な方々も多い。それに、私のような貧しい者に、そのようなご相談をしてくださるとは、何というありがたいことであろうか。よし、どうでもこうでも御用にお使いいただこう」と真心で御用におかげを頂かれたのでありましょう。

いわば真心を振りしほって、まさに勇んで御用におかげを頂かれたわけです。

そのような深い真心のある矢野クラ刀自であつたからこそ、安武松太郎師は「ソウダンセヨ」であつたのでしよう。

その後、矢野家はその御用(お供え)のために苦勞にさいなまれたかという、反対に年を追うことにおかげを蒙り、やがて人も羨むような農家

へと発展して行かれました。



大正10年2月 大教会所新築落成祝祭

私たちは、真の信心を進め教祖様が教えられている「真から用いる」御用におかげいだかねばなりません、それは「親神様の御立場に立った信心」をシッカリと頂き現わして行くことでもありましよう。

☆

心に、ムリのないように、大きな喜びをもってさせていただく御用で

なくてはなりません。仕方なしにすることでは、真ではありません。

「せずにはおれない」というほどの真心を神様はお喜びになられお受け取りになられるのでありましよう。信心の稽古を進めそのような真心で、会堂の「改造改修工事」には取り組ませていただきたいものです。



晩年の矢野クラ刀自・矢野仁吉郎翁

「親神様を現わしまへる」

矢野政美大人（遺稿）

（「いっしん」昭和四十八年二月号より）

現代社会は今さら申すまでもなく、めざましい科学の進歩と経済の成長、さらには諸物価の値上がりなど、十年前、二十年前に比べましたら、まったく驚くほどのことになってまいりましたが、けっして人間の幸福にはつながらないようであります。

例えば、核時代と言われますように、人間が月へさえ行けるようになり、また、二・三発の水素爆弾で日本全土が全滅することさえできるようになりました。誠に恐怖の中に生きておるわけであります。公害の犠牲者も続出しております。

このように一面非常に便利になりました半面では、生命の危機さえ感じられるようになってまいりました。科学の進歩は必ずしも良いことばかりではありません。

ところが、私共がどれほど喜んで喜び足りないほどのことは何かと



矢野政美夫人

申しますと、今から百四十年前に我が教祖の神様が、この世に天地金乃親神様をお現わしになったということではないでしょうか。

その当時は、この天地に親神様がおわしますところか、いわゆる支那から渡ってきた陰陽説によって、金神という神様があつて日柄・方角・家相・縁談についても厳しい戒めがあつたわけですが、そのような中に教祖様は実意丁寧神信心一筋にお進めになられて、ついに眞の慈悲の神、生みの親様、生かしの親様であられます、天地金乃親神様を御現わしになり「これまでは世の中の者が天の恩を知って地の恩を知らず、これか

らは天地の恩を知れよ、天地の恩を知って天地金乃神と拝め」と神みさとしになられました。

ありがたいことに、私共この道の信奉者は、生まれながらに、また、生かされてある生涯の中で、ご神縁を頂き、眞実の親神様にめぐり合わせていただき、生神金光大神様の御取次を頂いて「神も助かり氏子も立ち行く」と仰せられてあります生き方を進めさせていただく、信心の稽古に励ませていただいておりますのであります。

さらに進んで、私共の信心生活を進めさせていただくことによって、周囲の人々に我が道の尊さをわかつていただき、我が天地金乃親神様に世に現わし奉り、取次の大切さを人々にわかっていたただく御用に立たせていただくことこそ、私共信奉者の義務ではないかとしみじみ思わせていただきます。(おわり)

~~~~~

この文章について (矢野 章)

昭和四十八年頃は、世界的には大國の冷戦真つただ中の時代で核兵器削減交渉が進められていました。国

内的には水俣病の原因が有機水銀であることが明らかとなり責任が裁判で争われていました。

加治木教会紙の「いっしん」の行事欄にはお寄り会が毎月三か所か四か所で開催されており、政美親先生の信心の全盛期でもあつたようです。

「この道を世に現わす御用に立たせていただきたい」という思いが溢れていることを感じます。このお道では「神恩・師恩に報いる」ということの大切さも説かれています。

加治木教会にご縁を頂く私共皆、そのような願いを今日もシッカリと現わして行くべきであります。



## 少年少女会

## 「鏡開き」&amp;「七草たこやき会」

開かれる

一月四日、まだまだお正月といった空気の中、少年少女会の「鏡開き」と「七草たこやき会」が開かれました。

コロナウイルス感染症に気をつけながら、たくさん種類の七種類の材料でたこ焼きを焼いて、神様のお下がりのおかがみ餅でできたぜんざいをいただきました。

## 【お話しの内容】

「七草」は、古来子供の成長を感謝し健康を祈願する意味合いの行事です。

医学が発達する前、つい数十年前まで、七才までに伝染病やいろんな病気で亡くなる子供がたくさんいました。また、古い時代にさかのぼるほど、七才まで成長できずに病死する率が高かったのです。

七才まで成長できればひと安心と

いった意味合いで神仏に感謝し、さらにこれからの健康な成長を祈願したのであります。

今は、医学が発達し食糧事情も大変良くなって、たくさん子どもたちが命を落とさずに成長できるようになりました。

天地のお恵みに対してはもちろんのこと、医療・科学・文化・経済・教育・衛生（七種類）の発展・発達に、感謝をしていく一日にしたいものです。



↑ チラシでパズルくみあわせゲーム  
←いっしょうけんめい焼きました

# 令和三年度 鹿児島地方教会連合会 定期総会

開かれる

令和三年一月二十四日(日)鹿児島教会において、鹿児島地方教会連合会の令和三年度「定期総会」が開かれ、令和二年度の活動・会計の報告、令和三年度の活動方途・予算の審議などが行われました。

この日の前日、鹿児島県のコロナウィルス感染者が一五〇〇人を越えるという状況でした。

そのため、今回の定期総会は、各教会から一名の代表出席者で定期総会を開くことを各教会に事前に連絡し、出席者と委任状を合わせて総会議決定数を越え、成立することとなりました。

当日の鹿児島教会では、検温・手消毒の徹底・席の間隔を空ける・時間を決めての室内空気の入替えなど、感染予防対策を十分に取らなからの開催となりました。

また、例年は午前中に総会議事、午後研修会を開いていましたが、今

年度は午前中の総会議事のみで終了しました。  
(連合会行事、教会行事の一覧を教会にて配布しております。)



## あしあと(教会行事報告)

- 1月
- 1 (祝) ●元日祭 正午
  - 3 (日) ※光風館予約 10時(済)
  - 4 (月) ★少年少女会「鏡開き」10時半
  - 6 (水) 甘木親教会年頭参拝
  - 9 (土) 清掃御用 10時
  - 10 (日) ●月例祭(天神堂) 10時半
  - 併せて 成人感謝祭
  - 15 (金) 連合会執行部会(上瀬田) 10時
  - 22 (木) 清掃御用 10時
  - 24 (金) ●月例祭・共励会 13時半
  - 31 (日) 連合会定期総会(鹿児島) 10時
  - 清掃御用 10時

加治木教会の  
災害支援金箱の報告  
令和3年1月... 1,815円  
連合会社会活動委員会へ  
令和3年8月... 3,000円  
人吉教会・人吉西教会へ  
見舞金の一部として  
令和2年1月... 11,228円  
連合会社会活動委員会へ

## ご霊神様のおまじ

二月

- 桐野ケサノ之霊神(1日)昭和9年
  - 桐野秋子之霊神(3日)昭和7年
  - 中村照子之霊神(4日)平成15年
  - 吉屋安光之霊神(8日)平成1年
  - 川畑正徳之霊神(12日)昭和23年
  - 矢野政美之霊神(12日)平成11年
  - 野元和子之霊神(13日)平成30年
  - 小屋敷慶二之霊神(14日)平成4年
  - 川畑助太郎之霊神(18日)昭和23年
  - 最勝寺剛藏之霊神(18日)昭和47年
  - 平島タキノ之霊神(18日)昭和52年
  - 福山一間之霊神(20日)平成16年
  - 川畑幸正之霊神(21日)昭和21年
  - 中村正義之霊神(21日)昭和21年
  - 野口ミヤノ之霊神(22日)昭和60年
  - 永原初男之霊神(22日)平成22年
  - 大山テル之霊神(22日)平成27年
  - 平島房代之霊神(24日)昭和6年
  - 中島武夫之霊神(24日)昭和50年
  - 桐野ケイ之霊神(25日)昭和2年
  - 前田京子之霊神(25日)平成14年
  - 山下ヒサエ之霊神(28日)平成2年
  - 宮内ミツル之霊神(28日)平成13年
- 「先祖のご霊神様の、現世・幽界(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。  
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前で霊祭をお仕えし、玉串の奉てんを準備しています。」

二月十七日(水)

甘木親教会

# 報徳祭

引き続き 安武松太郎大人七十年祭  
コロナウィルス感染症対策のため出社教会からの信徒の方の参拝はお控え下さいとのこと。

二月二十一日(日)十一時より

前日、御用奉仕は清掃

# 報徳祭奉仕

引き続き 矢野政美大人例年祭

教話 多良木教会長

梅木博光 先生

《隣接・関係教会 報徳祭》

二月十四日(日) 多良木教会

午前十一時より

二月十一日～二月十九日

報徳祭 奉迎

# 寒中一斉信行

ご祈念・研修 午前五時十五分・午前十時

## 教会行事

2月

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
  - 4 (木) 甘木親教会初代立日 10時ご祈念
  - 9 (火) 清掃御用 10時半
  - 10 (水) ●月例祭(生神金光 大神様) 10時半
  - 12 (金) 矢野政美大人立日 10時ご祈念
  - 14 (日) 多良木教会報徳祭 11時
  - 17 (水) ●甘木親教会 報徳祭 11時
  - 20 (土) 清掃御用 10時半
  - 21 (日) ●加治木教会報徳祭 11時
  - 22 (月) ●月例祭・共励会 13時半
  - 28 (日) 清掃御用 10時半
- 《未定行事》青年会・若婦人会

布教七十年奉迎(令和三年)

改まりの願い

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき

ご安心いただく信心に、

おかげを信じる信心から

親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただく。

3月

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 9 (火) 清掃御用 10時
- 10 (水) ●月例祭 10時半
- 13 (土) 矢野クラ刀自立日 10時
- 13 (土) 14 (日) 典楽講習会 教金 鹿児島
- 19 (金) 清掃御用 10時
- 20 (祝土) ●春季霊祭 10時半
- 22 (月) ●月例祭・共励会 13時半
- 31 (水) 清掃御用 10時
- 4月
- 3 (土) 4 (日)

●御本部天地金乃神御大祭 参拝

※祭場内は、人数制限はありますが祭場の外側での参拝はできます。奥津城参拝・朝参拝もできます。

# 典楽講習会

三月十三日(土) 14:00・十四日(日) 1000

鹿児島教会にて

琴・龍笛・笙・箏・太鼓

加治木教会布教七十年記念大祭は、令和三年五月三十日(日)と決まりました。